

未

四年 筆順 二 十 未
フン オン ミ

成り立ち



木にわかい新しいえだが出た形を表した字です。

「まだ十分には生長していない。」えだですから、「まだ……ない」という意味を表す時に使います。たとえば「まだ完成していない。」ことを「未完」というように使います。

この字は、すでに「妹（年229）」、「味（年420）」で学びました。ここでも「まだ……ない」という意味で使われていますね。

使い方

▽ぼくは、シューベルトの「未完成交響曲」が好きです。とても美しい曲だからということもありますが、一番心をひかれるのは、この曲が、未完成だということですから。もし完成したら、どんな曲になっていたのだろう、と考えると、わくわくします。

▽「未来」という言葉は、「まだ来ない。」という意味を表しています。「将来」のことです。未来の世界はどのようなになるでしょう。

熟語例

▽未完成（まだ完成していないこと。）

▽未熟（まだ熟していないこと。くだものが熟していないことや、技術などが熟達していないことに、つかえます。「運転技術が未熟なのに、スピードを出して車を運転すれば、事故が起きるのは当たり前だ」などというふうに、つかえます。）

▽未開（まだ開けていないこと。文明がまだ開けていないことや、土地がまだ開拓されていないことに、つかえます。「未開地を開墾して、田畑を作る」などというふうな、つかえます。）

脈

四年 筆順 月 月 肝 肝 脈
フン オン ミ ヤク

成り立ち



二つの川が合流して、一つの川になった形を表した「脈」と、体の部分の名を表す字につけるしるしである「月」とを組み合わせて作った字です。

川が合流して一つになったり、一つの川が分かれて二つになったりするように、体の中で分かれたり、合わさったりする「血管（血の流れる管）」を表した字です。例 動脈、静脈、脈拍。

「血のすじ」という意味から、「すじのように長く続くもの」を「脈」と言うようになりました。例 山脈、水脈、文脈。

使い方

▽心臓から流れ出る血を運ぶ管を、動脈といいますが。動脈を通じて運ばれる血液は、体のすみずみまで達しています。そして、また、心臓に戻って来ますが、この時は静脈を通ります。みなさんのひふに青く浮いて見えるのは静脈です。ひふの奥深くドキドキと音をたてて流れているのが動脈で、これを傷つけると大変です。ドツと血がほとばしります。

▽文章を読む時は、文脈をたどって、筆者が何を言おうとしているかを読み取ることが必要です。文章の組み立ては、筆者が努力をほらっている所です。文章を書く時は、よく文脈を組み立てて、整然とした文章を書くようにしましょう。

熟語例

▽脈拍（心臓が動くのにつれて起こる規則的な動脈の鼓動。「運動すると、脈拍が高まります」などというふうな、つかえます。単に「脈」とも言います。）

▽山脈（山々の連なり）

▽水脈（地面の下を流れている水のすじ道）

▽文脈（文章の中の、文の続きぐあい）